

時間割コード	G2B60504	開講年度	2026				
授業題目	バドミントン					担当教員	藤巻 克 他
英文授業名	Badminton						杉本 光公
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	金曜・4時限	対象学生	全
講義室	共通教育第1体育館			授業形態	実技	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力					⇔	持続可能な社会を実現するための課題に取り組む力
(2)授業で学べる「テーマ」	健康長寿						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	目標・課題を設定し、対抗戦を行う。 1.バドミントン競技の基本技能・戦術とその応用力を習得する。 2.バドミントン競技のゲームの進め方・ルール・スコアリング・審判方法等について理解習得する。 3.目標・練習計画を立案し、競技力の向上を図る。						
(5)授業のキーワード	バドミントン 体育 スポーツ						
(6)授業計画	第1週 授業概要・計画の説明、バドミントン競技の特性について、基本技能習得学習 第2・3週 基本技能習得学習、簡易ゲーム 第4・5週 基本技能習得学習、シングルスゲーム 第6・7週 基本技能・戦術習得学習、シングルスゲーム 第8～11週 基本技能・戦術習得学習、ダブルスゲーム(ペアーワーク) 第12週 対抗戦 第13～15週 対抗戦、授業アンケート実施 第16週 総括学習、ゲーム						
(7)成績評価の方法	・基本技能習得学習 ・バドミントン競技の特性・ゲーム方法・ルールの理解、審判方法の理解と取り組み ・対抗戦の結果						
(8)成績評価の基準	個人で設定した目標・課題に対して自主的・積極的・協力的・継続的に取り組むことができれば水準より上である。 1.合計点は100点(59点以下は不可) 2.取り組み状況(自主的・積極的・協力的・継続的)45点 3.基本技能が習得できれば25点 4.学習の取り組み状況30点(対抗戦において、獲得した得点による評価)						
(9)事前事後学習の内容	授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。 1.個人の課題を見だし、その解決方法の学習 2.バドミントン競技のゲームの進め方・特性・ルール・戦術・審判方法等の学習 3.基礎的身体能力の向上に努める。						
(10)履修上の注意	1.運動着・体育館シューズは毎時忘れずに各自用意する(第1週より必須事項)。 2.用具(ネット・ラケット・シャトル等)は大学で用意します。 3.授業場所は共通教育第1体育館。						
(11)質問,相談への対応	適宜メールで アドレス;ketengjuan@gmail.com						
(12)授業への出席	1.全ての回の授業に出席することを前提とします。 2.授業の出席確認は出席確認システムと担当教員の出席確認用紙を併用します。 3.授業開始後30分までは遅刻、それ以降は欠席とします。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」に該当する場合であっても、長期入院等で複数回にわたり出席できず、6回以上(15週のうち)授業に出席できない場合は授業の達成目標に到達する教育の質を担保することができないため、単位認定はできません。						
【教科書】	なし						
【参考書】	なし						